

# はじめに

古文を理解するには、地道な予習・復習を続けることが大切です。本書は、教科書の予習・復習をするときに、その手助けをする効率的な自習書として編集されたものです。次の構成・特色をよく読んで、古文の学習に役立ててください。

## ▼本書の構成・特色▲

- その単元で学習する目標を、各単元の冒頭に示しています。
- 大意／要旨：教材文のあらすじや要旨を簡潔にまとめてあります。
- 段落／段意：教材文が長い場合はいくつかの段落に区切り、各段落の内容を要約してあります。

- 口語訳／品詞分解：教材文をそのまま掲載したうえで、その右側には原文に即した口語訳を、左側には品詞分解をそれぞれ示してあります。
- 語釈・文法：難解な語句や表現、文法事項をできるだけ取り上げ、本文に即した意味や解釈を掲げて、分かりやすく解説してあります。なお、教科書に▼で示された「古文重要語句」はすべて取り上げています。
- 鑑賞：教材文に対する理解を深められるように、作品の文学的な位置や面白い方などを解説してあります。

- 教科書の問題(解答・解説)：教科書の脚注や教材末に示された問題について、解答や分かりやすく丁寧な解説を示してあります。

- (作(編・撰)者・出典)：(作(編・撰)者)については経歴や業績、著作などを、出典については成立年代や成立事情、概要などを解説してあります。

## 品詞分解の略符号

### 1 品詞名

名 名詞 代 代名詞 動 動詞 補助 補助動詞  
連 形容詞 形動 形容動詞 副 副詞 接 接続詞  
感 感動詞 助動 助動詞

### 2 助詞の分類

格助 格助詞 副助 副助詞 接助 接続助詞  
係助 係助詞 終助 終助詞 間助 間投助詞

### 3 用言の活用

動詞：四 四段活用 上 上二段活用  
上 上二段活用 下 下一段活用  
下 下一段活用 力 力変格活用  
カ 力変格活用 ナ 行変格活用  
ナ 行変格活用 ラ 行変格活用  
ラ 行変格活用

形容詞：ク ク活用 シク シク活用  
形動動詞：ナリ ナリ活用 タリ タリ活用

### 4 活用形

未 未然形 用 連用形 終 終止形  
体 連体形 已 已然形 命 命令形

### 5 助動詞の意味

使 使役 尊 尊敬 自 自発 可 可能  
受 受身 尊 尊敬 自 自発 可 可能  
消 打消 過 過去 嘆 詠嘆  
完 完了 強 強意 並 並列 存 存続  
推 推量 意 意志 適 適當 勸 勸誘  
仮 仮定 婉 婉曲 当 当然 命 命令  
丁 丁寧 定 推定 禁 禁止 伝 伝聞  
希 希望 断 断定 在 存在 比 比況  
例 例示 不可 不可能 不 不適 不 不適  
反 反実仮想 過 過去 過 過去 過 過去  
過 過推 過 過去 過 過去 過 過去  
原 原推 原 原因 原 原因 原 原因  
消 打消 消 打消 消 打消 消 打消  
消 打消 消 打消 消 打消 消 打消

# はじめに

漢文を理解するには、地道な予習・復習を続けることが大切です。本書は、教科書の予習・復習をするときに、その手助けをする効率的な自習書として編集されたものです。次の構成・特色をよく読んで、漢文の学習に役立ててください。

## ▼本書の構成・特色▲

※本書では、「[2](#)唐詩」の参考教材は扱っておりません。

- その単元で学習する目標を、各単元の冒頭に示しています。
- 大意／要旨／主題：教材文のあらすじや要旨を簡潔にまとめてあります。また、漢詩では、主題を示してあります。
- 段落／段意／形式：教材文が長い場合は、いくつかの段落に区切り、各段落の内容を要約してあります。漢詩では、形式や韻について解説してあります。
- 原文／訓読：教材文をそのまま掲載したうえで、一文ごとに、訓読として書き下し文に直し、現代仮名遣いのふり仮名を付けた読み方を示してあります。
- 口語訳：原文に即した分かりやすい口語訳を示してあります。
- 語釈・句法：難解な語句や表現、文法事項、句法をできるだけ取り上げ、本文に即した意味や解釈を掲げて、分かりやすく解説してあります。
- 鑑賞：教材文に対する理解を深められるように、作品の文学的な位置や味わい方などを解説してあります。
- 教科書の問題（解答・解説）：教科書の脚注や教材末に示された問題について、解答や分かりやすく丁寧な解説を示してあります。
- 作（編）者・出典：作（編）者については経歴や業績、著作などを、出典については成立年代や成立事情、概要などを解説してあります。